



公明こうべ

発行：公明党神戸市議員団
神戸市中央区加納町6-5-1

<http://www.kobe-komei.net>

2026年
vol.1

実績
特集号

フリースクール半額支援を

実現(月2万円)

令和8年度神戸市予算が成立しました。公明党議員団は、子育てしやすく、誰もが暮らしやすいまちをめざし、さまざまな取り組みを進めてきました。その一つとして、近年増えている不登校の子どもたちが、自分に合った学びの場を安心して選べるよう、フリースクールの利用料を保護者に助成する新制度がスタートします。

不登校支援を強化し学びの選択肢を広げる

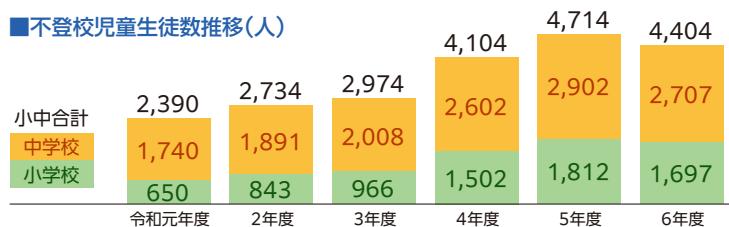
魅力ある学校づくりが一番大切ですが、不登校への対策も同時に進めています。これまで、小中学生向けのオンライン相談や総合相談窓口の設置、学校内に校内サポートルームを整備して支援員を配置するなど、学校内外で多様な支援を行ってきました。

支援センター(くすのき教室)を設置し、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めています。

通学・オンラインどちらも対象

こうした取り組みに加え、令和8年度からはフリースクール利用時の費用を市が半額助成します。通って利用する場合は月2万円まで、オンラインで利用する場合は月1万5千円までを上限として利用料の負担を軽減します。

■不登校児童生徒数推移(人)



※本文にはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

賃貸も分譲も

若者・ファミリー世帯の親子近居・同居の促進や、ニュータウンに多い階段室型団地の空き住戸の活用と定住促進を図るため、団地暮らし応援補助「住みかえーる」の対象を、賃貸住宅に加え分譲住宅にも拡大します。

住みかえーるってなに?

神戸市が行っている住宅の住み替えを支援する補助制度(最大35万円)です。神戸に住みたい、神戸で子育てしたいと希望する若年夫婦・子育て世帯の住み替えを応援します。

分譲マンション管理を強力バックアップ

令和8年7月から分譲マンションの管理状況の届出が義務化されます。市は制度を広く周知し、管理組合へのDM送付や出張サポート、相談窓口の設置、未届出マンションへの訪問支援などで届出作成を支援します。

さらに、長期修繕計画づくりへの助成も拡充し、適正な管理体制を進めます。



「住みかえーる」補助 分譲住宅にも拡大

市政へのご意見・ご相談は下記の各区所属議員にお問い合わせ下さい。



東灘区

岩佐 健矢

TEL.080-7994-4645
iwasa.kenya@gmail.com



灘区

高瀬 勝也

TEL.080-6209-7704
takase.katsuya@gmail.com



中央区

萩原 泰三

TEL.080-7994-4627
hagiwara.taizo@gmail.com



兵庫区

菅野 吉記

TEL.080-6209-7711
yoshinori@sugayan.jp



北区

徳山 敏子

TEL.080-6209-7712
toshikotuyama@gmail.com



北区

堂下 豊史

TEL.080-4363-9251
doshita.toyoji@gmail.com



長田区

坂口 有希子

TEL.080-7674-6456
sakaguchi.akiko2022@gmail.com



須磨区

門田 まゆみ

TEL.070-3182-6213
kadota.m.komei@gmail.com



垂水区

壬生 潤

TEL.080-6209-7707
mibujun@gmail.com



垂水区

細谷 典功

TEL.080-7674-6455
hosoya.kobe@gmail.com



西区

吉田 謙治

TEL.080-6209-7700
yoshida.kenji@gmail.com



西区

宮田 公子

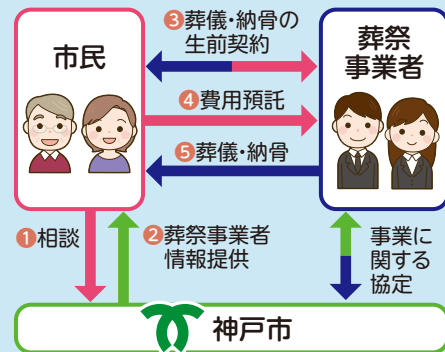
TEL.080-7674-6451
kimikomiyata0120@gmail.com

新しくきれいな介護施設に

介護保険制度ができる前に建てられた特別養護老人ホームなどの老朽化が進んでいます。入所者がこれからも安心して暮らし続けられるよう、これらの介護施設を対象に、大規模改修を支援する新しい市独自の補助制度を創設します。



介護施設の改修に市独自の助成制度設ける



65歳以上なら終活相談が誰でも可能

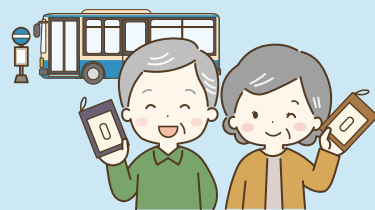
令和7年10月1日から、「エンディングプラン・サポート事業」の所得制限が撤廃されました。これにより、神戸市民で概ね65歳以上の方は、どなたでも相談できるようになりました。

身寄りがなく、または親族と疎遠で頼れない場合、生前のうちに葬儀や納骨の契約を結ぶ際にその手続きを支援する制度です。

高齢者・障がい者の「住まいの不安」をなくす

高齢者や障がい者が賃貸住宅に入居しようとしても、孤独死や家賃滞納への不安から断られるケースが問題になっています。市では入居を断らない「セーフティネット住宅」を拡大しており、令和7年12月末時点で507棟・4,870戸が登録されています。

さらに、令和7年10月からは、見守りを行う「居住サポート住宅」の認定制度を開始し、今後、登録の拡大を進めます。



敬老・福祉パスの対象拡大を目指して

「敬老・福祉パス制度」の対象外となっている民間バス事業者に対し、市が補助を行い、4月から東部エリアで敬老割引制度の実証実験を開始します。

安心な生活に5,500台のカメラ

犯罪を防ぎ、安心して暮らせるまちにするため、市直営の防犯カメラを大幅に増やします。

令和8年度には1,300台を追加し、5,500台まで拡大します。

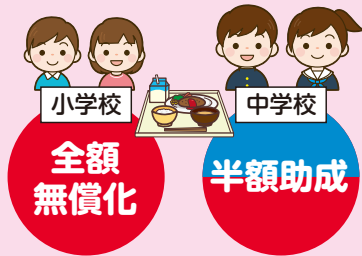


地域を守る防災人材を確保

地域防災力の向上にむけ、避難所運営の専門ボランティアの育成や、無料の防災士資格の取得研修を市内で開催します。

また、担い手確保が困難な地域において地元企業やNPO、ボランティア、学生等と連携して避難所開設のモデル事業を実施します。

市直営の防犯カメラふやす



中学校は給食費半額を継続

小学校給食は、国などの財政支援を活用し、給食費を全額無償化します。

また、本年1月から全区で全員喫食を開始した中学校給食については、給食費の半額助成を継続します。

夏休みの学童保育と昼食提供を拡充

子育てと仕事の両立を支援するため、夏休み期間限定の学童保育の受入れ体制を拡充します。夏休み期間限定の学童保育施設は現在の54施設から80施設へ増設します。

また、夏休み期間中に昼食を提供する施設も、144施設から172施設へ拡大します。

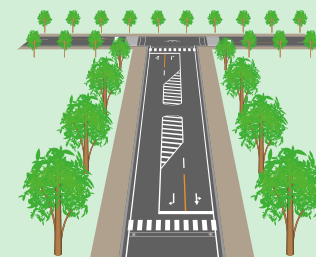
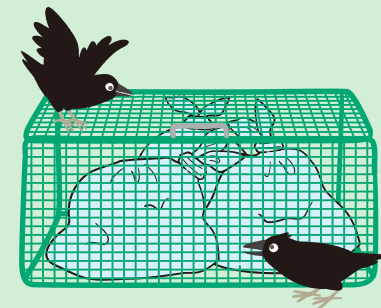


部活動の地域移行を支援する10億円基金を創設

9月からコベカツ実施に向け、会費(月額約3,200円のうち1,500円/月)の補助、保険料(800円/年)など保護者負担も軽減し、さらに10億円規模の支援金を創設し、備品購入などの環境整備にも努めます。

ネットボックス購入支援でゴミ荒らすカラス防ぐ

クリーンステーションにおけるカラス等の鳥獣被害対策として、ネットボックスの購入助成制度を新たに設けます。助成額は1件あたり上限3万円、経費の2分の1を補助します。



新工法で雑草対策を加速、街路樹の更新も推進

新工法を活用した雑草対策を本格的に進めるとともに、再整備方針に基づく街路樹の更新や、河川の流水を阻害する樹木の撤去を加速します。

人工日よけと環境に優しい舗装を拡大

異常気象に伴うヒートアイランド現象への対策として、人工日よけの設置を一層推進します。

さらに、広場や歩道においては、環境に配慮した木質系舗装の活用や、保水性舗装等の整備を進めます。



神戸市役所南交差点

カラス対策、雑草除去の要望を実現